

LIHIT LAB.
FILE.60

ごあいさつ

株主の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご支援を賜りまして、ありがたく厚くお礼申し上げます。
 ここに、当社第60期中間期（平成19年3月1日から平成19年8月31日まで）の決算にあたり、事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間期の経済環境

当中間連結会計期間の我が国経済は、大企業を中心とする企業収益や設備投資の増加基調が維持されましたが、個人消費は盛り上がりには欠け、企業においても大企業と中小企業の景況感の格差が拡大するなど、景気の拡大は緩やかなものになりました。

市場環境

当業界におきましては、緩やかな回復基調の景気を反映し始めてはありますが、年々輸入量が拡大する海外商品との競合による低価格化圧力を受け、原油価格の高騰による原材料費の大幅な上昇に対して価格転嫁が進まない厳しい状況が依然続いております。

当中間期の取り組み

当社グループにおきましては、価格訴求型ブランドとして展開しております「リクエストシリーズ」では主力のD型リングファイルが市場に浸透し大きく売上を伸ばしました。また高付加価値型ブランド「アバンティシリーズ」では、エルグランドG・クリアーブックやエルグランドV・カードホルダー等の新製品が好調に推移しました。

当中間期の業績

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は53億2千万円（前年同期比3.6%増）となりました。

利益面につきましては、予想以上に低価格商品の比重が高まっ





Binders & Clear Books



Other office supplies



たことや、原材料価格の上昇が進行したことに加え、海外子会社も同様の要因により黒字化が遅れたこと等のマイナス要因に苦慮しましたが、増収効果や経費の圧縮に努め、固定費の削減が進んだ



こと等により、営業利益は1億4百万円(前年同期比12.0%増)、経常利益は1億1千2百万円(前年同期比10.3%増)とそれぞれ増益となりました。

会社に対処すべき課題

今後の見通しといたしましては、原油価格の高騰による原材料価格の継続的上昇や為替などの不安要因に加えて、米国等の世界経済の動向も懸念され、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。当社グループはこのような状況下のもと、顧客の立場に立った商品開発と生産体制の強化、物流体制の整備などに注力し、業績を改善させ収益力の回復に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年11月

代表取締役社長
田中 経久



商品ラインナップ



■ファイル部門

ファイリングの用途に応じた様々なタイプのファイルを展開しています。しっかりととじることができる「穴をあけてとじるファイル」と、クリアーホルダー等のような整理に便利な「穴をあけずにとじるファイル」に区分されます。

主要製品 クリアーホルダー・リングファイル・パンチレスファイル・ボックスファイル・パイプ式ファイル

ステーションナリー オブ ザ イヤー 2年連続受賞



ページめくりがスムーズな洋書スタイルの「エルブランド シリーズ」がISOT2007(国際文具・紙製品展)ステーションナリー・オブ・ザ・イヤー デザイン部門・優秀賞を前年のリングファイル(カドロック&ツイストリング)に続いて受賞いたしました。

■バインダー・クリアーブック部門

多穴リングバインダーやクリアーブック等を展開しています。当社のクリアーブックはページめくりがスムーズな洋書スタイルのクリアーブックをはじめ高透明ポケットタイプなど豊富なバリエーションが揃っています。

主要製品 ノート・バインダー・クリアーブック・コンピュータバインダー



■収納整理用品部門

書類、文具等の持ち歩きに便利なバッグ、様々なものの収納に便利なクリアーケースや、デスクトレイ、クリップボード等を展開しています。軽くて丈夫な持ち運びのしやすさを実現したバッグや、スケルトンタイプのおしゃれなバッグ等様々な製品を揃えています。

主要製品 バッグ・クリアーケース・クリップボード・デスクトレイ



■その他事務用品部門

書類に穴をあけるオートパンチやペーパードリル、簡単に製本ができるブックバインド、医療機関でのカルテ整理に適したメディカル用品等を展開しています。

主要製品 ペーパードリル・ブックバインド・メディカルサブライズ

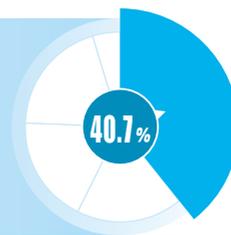
■不動産賃貸

連結子会社 大江ビルサービス(株)が大江ビル(本社)、大阪配送センターの不動産管理を行っています。

業績の概況

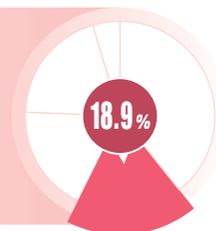
ファイル部門は、主力の薄型リングファイルに加えて、厚型タイプのえつらんパイプロンやリングファイルを拡充いたしました。D型リングファイルが大きく売上を伸ばしたほか、薄型のルーバーファイルが引き続き好調に推移しました。

また主力商品の「クリアーホルダー」が厳しい価格競争のなか健闘し、ファイル部門の売上高は21億6千6百万円（前年同期比7.0%増）となりました。



バインダー・クリアーブック部門におきましては、リクエストシリーズを中心にクリアーブックが全般的に好調に推移し、ポケットが溶着された「固定式タイプ」、ポケット枚数が増減できる「交換式タイプ」の何れもが売上増加となりました。

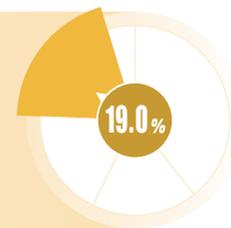
その結果、バインダー・クリアーブック部門の売上高は10億9百万円（前年同期比10.4%増）となりました。



収納整理用品部門におきましては、新機構のクリップボードが市場に定着し順調に売上を伸ばしましたが、ケース、バッグ類が低調に推移し、収納整理用品部門の売上高は9億1千3百万円（前年同期比3.1%減）と苦戦いたしました。



ペーパードリル等の法人向け事務機は堅調に推移しましたが、外来カルテ保管用品は商品単価の下落により販売金額が減少し、その結果その他事務用品部門の売上高は10億9百万円（前年同期比0.1%減）となりました。



賃貸収入は一部空室の発生により賃料収入が減少しましたが、概ね安定的に推移いたしました。その結果、不動産賃貸事業の売上高は2億2千1百万円（前年同期比7.9%減）となりました。





LIHIT LAB. 名品館



「良い品はお徳です」はLIHIT LAB.創業当時からの開発姿勢。ちょっとした創意工夫の発想が、これまでにたくさんのロングセラー商品を生み出してきました。このコーナーではLIHIT LAB.の長年の歴史の中から、ヒット商品の開発秘話をほんの少しだけ紹介します。

LIHIT LAB.商品開発の歴史

スプリングファイル



1940年



パンチレスファイル

1965年

クリアーケース



1978年



クリアーブック・ルボ・カラーページ

1987年

リングファイル
〈カドロック&ツイストリング〉



2004年



えつらんパイプロン

2006年

1951年



ペーパーファスナー

1968年

クリアーホルダー



1982年

リングファイル



1996年

ルーバーファイル



2005年

フラットインファイル



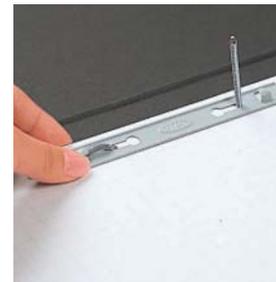
2007年

エルグランドG・
クリアーブック

創業とともに始まった創意工夫。60年以上の時を経ても、その姿勢は変わりません。



LIHIT LAB.が「田中経人商会」として創業したのは1938年。その2年後に誕生したのが「スプリングファイル」です。綴じ足にスプリングを使用したことにより、紙押さえの止め部から外すだけで綴じ足が直立、かんたんに書類を綴じたり取り出したりすることが可能になりました。また、紙押さえを引っ張ることでスプリングの先端が止め部に引っかかり、綴じた書類をムリなく開いて閲覧することができます。



1940年、ロングセラー商品「スプリングファイル」誕生。



今後もLIHIT LAB.は、ユーザーの立場にたってちょっとした工夫を真剣に考える、そんな視点でさらに便利な商品の開発を続けていきます。

コンパクトで薄いフラットタイプのファイルは、オフィスや学校をはじめ幅広いニーズがあります。LIHIT LAB.はこのフラットタイプのファイルをさらに綴じやすく、閲覧しやすくするため、67年前に自ら生み出した「スプリングファイル」の技術を応用。スプリングを用いた綴じ足を持つ、リーズナブルで使いやすいファイルを開発しました。

この「フラットインファイル」もまた、LIHIT LAB.の原点である「スプリングファイル」とともに、末永く愛されるロングセラー商品になると確信しています。



開発者
インタビュー

「スプリングファイル」誕生から67年、「フラットインファイル」登場。



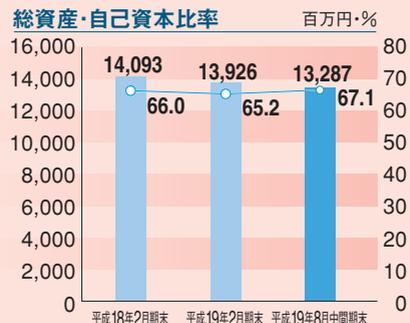
LIHIT LAB.
デザインプレイス
前田 光則

「今までにないものを作る」ことが開発の醍醐味。

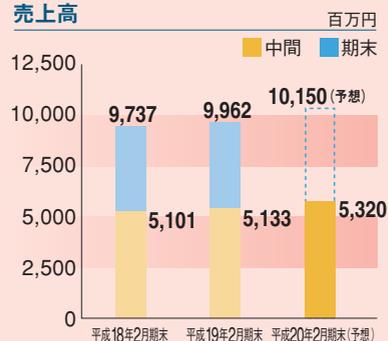
「フラットインファイル」は先行の同系フラットファイルよりも後発商品だったということから、当社ならではの独自性を出す必要がありました。そこで定番商品であるスプリングファイルのバネ式の綴じ足を応用。単価を低く抑えながら、より綴じやすく、閲覧しやすい商品を作ることができました。この商品のヒットが、元祖であるスプリングファイルの再評価に繋がったことは予想外の喜びでしたね。

■中間連結財務諸表

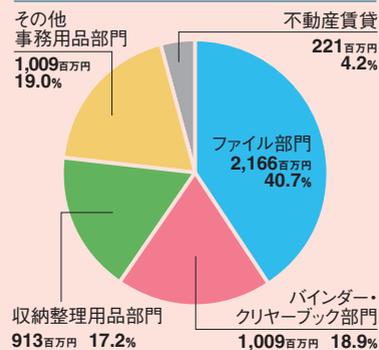
総資産・自己資本比率



売上高



部門別売上高



中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間連結会計期末	前中間連結会計期末	前連結会計年度
	(平成19年8月31日現在)	(平成18年8月31日現在)	(平成19年2月28日現在)
資産の部			
流動資産	4,633	4,543	5,007
固定資産	8,654	9,072	8,919
有形固定資産	7,341	7,585	7,439
無形固定資産	31	42	35
投資その他の資産	1,281	1,444	1,444
資産合計	13,287	13,615	13,926
負債の部			
流動負債	2,721	2,346	3,111
固定負債	1,648	2,138	1,738
負債合計	4,370	4,484	4,849
純資産の部			
株主資本	8,576	8,728	8,654
資本金	1,830	1,830	1,830
資本剰余金	1,411	1,411	1,411
利益剰余金	5,488	5,638	5,564
自己株式	△154	△151	△152
評価・換算差額等	341	401	422
その他有価証券評価差額金	309	399	401
繰延ヘッジ損益	2	△0	11
為替換算調整勘定	29	2	9
純資産合計	8,917	9,130	9,076
負債・純資産合計	13,287	13,615	13,926

POINT.1

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	(自平成19年3月1日 至平成19年8月31日)	(自平成18年3月1日 至平成18年8月31日)	(自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)
売上高	5,320	5,133	9,962
売上原価	3,854	3,652	7,127
売上総利益	1,466	1,481	2,835
販売費及び一般管理費	1,361	1,387	2,783
営業利益	104	93	51
営業外収益	27	19	44
営業外費用	19	11	33
経常利益	112	102	62
特別利益	-	1	1
特別損失	14	13	70
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	98	90	△5
法人税、住民税及び事業税	43	66	82
法人税等調整額	2	△14	△53
中間純利益又は当期純損失(△)	51	38	△34

POINT.2

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	(自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日)	(自 平成18年3月1日 至 平成18年8月31日)	(自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	555	176	△ 38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138	△119	△ 247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181	△178	71
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1	△0
現金及び現金同等物の増減額	236	△122	△ 215
現金及び現金同等物の期首残高	570	786	786
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	807	663	570

POINT

POINT.1 自己資本比率

当中間連結会計期間末は67.1%(前連結会計年度は65.2%)となり、大きく変動はしていません。

POINT.2 売上高

主力商品のファイルとバインダー・クリヤーブックが大きく伸長したことで、全体の売上高は前年同期比3.6%増加となりました。

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間(自 平成19年3月1日 至 平成19年8月31日) (単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成19年2月28日残高	1,830	1,411	5,564	△152	8,654	401	11	9	422	9,076
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△128		△128					△128
中間純利益			51		51					51
自己株式の取得				△1	△1					△1
自己株式の処分		0		0	0					0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△92	△8	19	△81	△81
中間連結会計期間中の変動額合計	-	0	△76	△1	△78	△92	△8	19	△81	△159
平成19年8月31日残高	1,830	1,411	5,488	△154	8,576	309	2	29	341	8,917

(注)記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

■中間財務諸表

中間貸借対照表		(単位:百万円)		
科 目	当中間会計期間末 (平成19年8月31日現在)	前中間会計期間末 (平成18年8月31日現在)	前事業年度 (平成19年2月28日現在)	
資産の部				
流動資産	4,689	4,497	5,035	
固定資産	8,561	9,027	8,845	
有形固定資産	7,173	7,464	7,289	
無形固定資産	29	40	33	
投資その他の資産	1,358	1,522	1,522	
資産合計	13,251	13,525	13,880	
負債の部				
流動負債	2,741	2,299	3,110	
固定負債	1,647	2,138	1,737	
負債合計	4,389	4,438	4,848	
純資産の部				
株主資本	8,550	8,687	8,619	
資本金	1,830	1,830	1,830	
資本剰余金	1,411	1,411	1,411	
利益剰余金	5,462	5,597	5,530	
自己株式	△154	△151	△152	
評価・換算差額等	312	398	412	
その他有価証券評価差額金	309	399	401	
繰延ヘッジ損益	2	△0	11	
純資産合計	8,862	9,086	9,032	
負債・純資産合計	13,251	13,525	13,880	

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書		(単位:百万円)		
科 目	当中間会計期間 (自平成19年3月1日 至平成19年8月31日)	前中間会計期間 (自平成18年3月1日 至平成18年8月31日)	前事業年度 (自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)	
売上高	5,292	5,096	9,897	
売上原価	3,856	3,638	7,108	
売上総利益	1,436	1,458	2,788	
販売費及び一般管理費	1,336	1,361	2,731	
営業利益	99	96	56	
営業外収益	38	30	56	
営業外費用	19	10	33	
経常利益	118	116	79	
特別利益	-	1	1	
特別損失	14	13	70	
税引前中間(当期)純利益	104	104	10	
法人税、住民税及び事業税	40	63	75	
法人税等調整額	2	△14	△53	
中間純利益又は当期純損失(△)	60	55	△10	

(注) 記載金額は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成19年8月31日現在)

商号 株式会社リヒトラブ
(英文名 LIHIT LAB., INC.)

創業 昭和13年5月
設立 昭和23年5月

資本金 18億3,000万円

事業内容 事務用品の製造・販売および不動産の賃貸

従業員数 201名

ホームページアドレス <http://www.lihit-lab.com/>

役員 (平成19年8月31日現在)

代表取締役社長	田中経久	取締役	谷口裕二
常務取締役	田中宏和	取締役	大内高明
取締役	松尾利一	監査役(常勤)	島津 正
取締役	長屋忠雄	監査役(常勤)	新井 裕
取締役	田中文浩	※監査役	大澤小吉郎
取締役	広畑元一	※監査役	河野修一郎

(注) ※印の監査役は、社外監査役であります。

事業所 (平成19年8月31日現在)

本社 〒540-8526 大阪市中央区農人橋1-1-22

東京支店 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町1-6-6

営業所 札幌 〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2-1-6政陽ビル
名古屋 〒460-0011 名古屋市中区大須1-6-13
広島 〒732-0828 広島市南区京橋町9-21スミター広島ビル5F
福岡 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-11KDX博多南ビル2F

静岡事業部工場 〒439-0031 静岡県菊川市加茂1300-10

静岡事業部物流センター 〒439-0031 静岡県菊川市加茂1300-10

関連子会社 (平成19年8月31日現在)

国内 大江ビルサービス株式会社 大阪府大阪市
アイダブリュー・ガティ株式会社 大阪府大阪市

海外 LIHIT LAB.VIETNAM INC. ベトナム社会主義共和国ハイフォン市

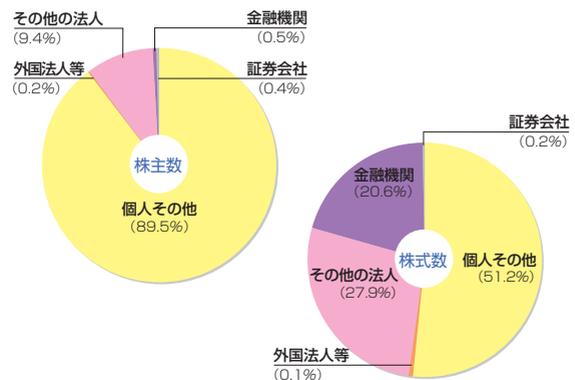
**株式の状況** (平成19年8月31日現在)

会社が発行する株式の総数：40,000,000株
発行済株式の総数：18,296,157株(自己株式782,343株を除く)
株主数：2,275名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)
田中経久	945
田中莞二	837
株式会社三菱東京UFJ銀行	805
リヒトラブ共栄会	739
株式会社三井住友銀行	735
富士火災海上保険株式会社	704
日本生命保険相互会社	643
明治安田生命保険相互会社	523

※株式数は千株未満を切り捨て、また自己株式782,343株を保有しておりますが、上記大株主から除いて表示しております。

株式の分布状況

※自己株式782,343株を除く

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
基準日	定時株主総会 2月末日 剰余金の配当 期末 2月末日 中間 8月31日
公告方法	電子公告とする
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 本支店 野村證券株式会社 本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、 次の三菱UFJ信託銀行の電話およびイン ターネットでも24時間承っております。 電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) ホームページアドレス http://www.tr.mufj.jp/daikou/
上場証券取引所	大阪証券取引所市場第二部 名古屋証券取引所市場第二部

<http://www.lihit-lab.com/>



当社は、平成18年7月3日付で、財団法人日本
情報処理開発協会 (JIPDEC) より、プライバシー
マーク付与の認定を受けました。当社は、平成
17年4月1日より個人情報保護法が施行され
たことにともない、個人情報の保護管理体制
の構築をはかるため、全社的な取り組みを推
進してまいりました。今後におきましても、個人
情報の適切な保護・管理は、当社の重要な
社会的責任と位置付け、継続的な従業員教
育とコンプライアンス・プログラムの改善を実
施してまいります。

The screenshot shows the LIHIT LAB. website interface. At the top, there are navigation tabs for 'HOME', 'ABOUT', 'CONTACT', and 'SERVICE'. The main content area features a 'Universal Design' section with the tagline '思いやりの心を活かした商品開発の心臓' and several images of products. Below this, there is a 'F&A' (Frequently Asked Questions) section with a list of questions and answers. The bottom of the page includes logos for 'F&A' and 'LIHIT LAB.'.

LIHIT LAB.



このパンフレットは、
地球環境への負荷を低減させるために
大豆インクを使用しています。